

令和2年12月23日

本校における部活動の在り方について

奈良県立奈良高等学校

10月1日に実施した部活動のアンケートをもとに本校部活動の在り方について、学識経験者、地元住民の代表、県教育委員会の方からご意見をいただきました。

- ・部活動と学業の両立を通して生徒が自分の時間管理をする力を付けさせる視点も大切です。
- ・学校の部活動が生徒にとって貴重な自己表現の場になっていることに留意してください。
- ・勝敗の結果だけを求めるのではなく、部活動に取り組む意義を伝えてください。
- ・奈良高校の今回の取組が奈良県の適正な部活動推進のモデルとなることを期待します。
- ・記名式の生徒アンケートを採用し追跡できる体制を作ってください。
- ・部活動は生徒の主体的な取組が大切です。
- ・先生同士で確認や点検し合う機会を充実させてください。
- ・部活動には主顧問だけでなく、第2・第3顧問もおられます。主顧問には言えないが副顧問に言えることもあり、顧問の役割を分担してください。
- ・相談し易い環境を保障する意味で、生徒に多くの先生（大人）が関わっていることを意識させてください。
- ・部活動ガイドラインについて生徒・保護者へ丁寧に説明してください。
- ・部活動ガイドラインは単に部活動に制限を加えようとするものではなく、生徒と教員双方の権利や健康を守るためのものであり、それを守ることでよりよい部活動が実現できると考えます。
- ・練習が長時間にならないことが生徒のケガの予防にもつながり、生徒を守ることにもなります。
- ・特に生徒の体力の個人差に配慮しながら、健康面に一層注意する必要があります。
- ・情報共有（生徒、保護者、先生）が大切です。
- ・指導方法の工夫などにおいて生徒とコミュニケーションをとっていれば、生徒の不安や悩みを把握することができます。
- ・感染症・熱中症に関しては学校又は厚生労働省のマニュアル等を参考にしながら、やるべき対策を明確にしたうえで確実に実行してください。
- ・感染拡大地域での試合参加については、慎重に検討し、予防対策が必要です。

以上の意見をもとに各部活動の運営等について点検を実施し、本校部活動が生徒のスポーツ及び文化活動並びに生徒の人間形成を資するよう生徒・保護・教職員が連携しながら適切な部活動の運営に努めてください。